

R4-08

警察やPTAとの連携を重視した交通安全教育

- 管内 上川管内
- 分類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 全校生徒を対象とする警察と連携した交通安全教室の実施
- 2 生徒会とPTAが連携した交通安全啓発活動の実施

取組の実際

ねらい

- 警察と連携した交通安全教室を実施することにより、生徒の危険回避能力や交通安全意識の向上を図る。
- 生徒会とPTAが連携した交通安全啓発活動を実施することにより、生徒の地域の交通安全に貢献しようとする意識を高める。

内容

1 警察と連携した交通安全教室の実施

- 警察署員からの自転車の安全な乗り方についての説明や、自転車の運転シミュレーションの体験を通して、事故からの危険回避能力の向上を図った。
- 生徒代表が警察署員へ交通安全宣言を行うことにより、全校生徒の交通安全意識の向上を図った。



【警察署員からの説明】



【運転シミュレーション】



【交通安全宣言】

2 生徒会とPTAが連携した交通安全啓発活動の実施

- スタントマンによる交通事故の実演により、生徒は交通事故の怖さを学んだ後、生徒会の生徒が街頭でドライバーに交通ルールの遵守を呼びかけた。
- PTAが交通安全を呼びかける看板を作成し、生徒会の生徒が町内の交差点等に設置することにより、地域の交通安全に貢献しようとする意識を高めた。



【スタントマンによる実演】



【交通安全啓発活動】



【看板の設置】

成果と課題

- 交通安全教室や交通安全啓発活動の実施により、生徒の交通安全意識を高めることができた。
- 交通安全啓発活動について、地域住民や関係機関と連携した取組を実施する必要がある。